

0054



本件關係書類(共一)貴課同覽中一付
亦書三拾用跡辺却セラレ度
200月日
官房

謀御中

決行指定
X
決裁指定

保存
受
午前10時
事務局

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件並同親展起案ノ件

陸軍省
2.8
午前
陸軍省
2.7
陸軍省
2.7.12
宗
制課
陸軍省
2.7.12
宗
制課

陸軍省
2.7.12
宗
制課
陸軍省
2.7.12
宗
制課
陸軍省
2.7.12
宗
制課

書記官
5.5
9.14
2.11
主務課員
主務副官
官房御用掛

陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省

陸軍省

大正二年七月八日
 0500

外 臣

主務局課		大臣官房	
番號	受領	提出	受領
整動第四〇號	大正二年七月八日	大正二年七月八日	大正二年七月八日

連帶 (決行後) 行(決裁) 局局長

課長

主務局長	次官	政務次官	政務次官	事務局長	事務局長
			參與官		
主務課長	高級副官	書記官	書記官	書記官	書記官

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件竝同規定起草ノ件

密受第四四九號

決裁前後連帶各局課

起元應(課名) 參謀本

陸機密

參謀總長へ回答案

首題ノ件ニ付本月六日附參機第^三二四號第

一照會ノ趣異存ナシ

一九八

八月八日

上奏案

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件制定方施行ノ件

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件^{制案}允裁

相成候ニ付テハ別紙軍令案ノ通之カ施行ヲ命セラ

レ度謹テ奏ス

上奏	七月	八日
裁可	八月	八日
月	月	日

朕臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件ヲ
制定シ之カ施行ヲ命ス

御名御璽

年 月 日

陸軍大臣

軍令陸甲第 號

(別紙ノ通)

陸軍部 五 號 十月八日 180

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル規定ノ件

關係陸軍諸部隊

陸軍部

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ関スル規定別紙ノ通定ム

陸機密第五八號
五月八日 180

関東軍司令官、歩兵第三十三旅團長、陸軍運輸部長へ軍令及達、全文ヲ打電スルコト

近衛師團長ニハ不取敢別紙ヲ送付シ本文到着後送付セシム

軍令陸甲卯五号

陸機密第五八號

二〇七
二〇八



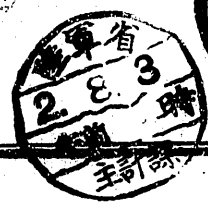
一 參謀 參謀第六一四號第一
本部

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件
並同規定起案ノ件照會

昭和二年七月六日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白 川 義 則 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通起案セシニ付異存無クハ本令ニ在リテハ
可仰 允裁規定ニ在リテハ令達方取計ハレ度



陸 軍

極秘

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件

昭和二年七月五日參謀本部第一課
五拾部ノ内第貳五

一 關東軍司令官ハ左記部隊ヲ第十師團長ノ指揮

下ニ速ニ山東ニ派遣スルモノトス

第十師團司令部

步兵第八旅團(滿洲ニ在ルモノ)

野砲兵第二十聯隊ノ一大隊(滿洲ニ在ルモノ)

野砲兵聯隊ノ一大隊ハ滿洲港灣出發ノ時ヲ以テ第十

師團長ノ指揮下ニ入ルモノトス

二 在 山東步兵第三十三旅團長隸(指揮)下ノ諸部隊ハ第十

師團司令部青島上陸ノ時ヲ以テ第十師團長ノ隸(指揮)

下ニ入ルモノトス

三 步兵第三十三旅團司令部ニ特ニ增加配屬セラレタル

ヲ以テ

人馬材料ハ第十師團司令部青島上陸ト共ニ別ニ示ス
モノノ外命令ヲ用フルコトナク第十師團司令部ニ轉
屬スルモノトス

四 前項ノ外第十師團司令部ニハ所要ノ人馬材料ヲ増加
スルコトヲ得

五 近衛師團長ハ左記諸班ヲ編成シ之ヲ山東ニ派遣シ第
十師團長ノ指揮下ニ入ラシムルモノトス

臨時派遣鐵道班

長大尉一及中(少)尉三ヲ基幹トスル約百三十名ヨ
リ成リ運轉及小修理ニ任シ得ル人員器械ヲ有ス

臨時派遣電信班

長少佐(大尉)一及中(少)尉五ヲ基幹トスル約百名ヨ
リ成リ改造乙種無線電信機二十五式ニ號無線

電機

電信機三、短波無線機ニヲ運用シ且若干、有線通信ニ任シ得ル人員器材ヲ有ス

六、前項諸班編成、為要スル人馬材料ハ所管ノ平時人馬

材料 臨時派遣電信班ニ在リテハ現ニ山東ニ在ル通信要員及材料ヲ含ム ヲ用フルモノトス之カ為内

地ヨリ派遣スル人馬ハ青島上陸ノ時ヲ以テ第十師團

長ノ指揮下ニ入ルモノトス

七、本令ニ依リ編成セラルル諸部隊ヲ總稱シテ臨時派遣

第十師團ト稱ス

八、關東軍司令官及近衛師團長ハ成ル可ク速ニ派遣部隊

ノ將校同相當官 砲工兵上等 職員表及人馬一覽表ヲ陸軍大

臣、參謀總長ニ報告スヘシ

九、派遣實施ニ要スル輸送ハ參謀總長之ヲ掌ルモノトス

陸軍運輸部長ハ派遣實施ノ為參謀總長、區處ヲ承ケ

戰時船舶輸送諸部ノ業務ニ任スルモノトス之カ爲陸軍運輸部ニ所要ノ人員ヲ増加スルコトヲ得

十、臨時派遣第十師團司令部ノ勤務ハ戰時高等司令部勤務令ヲ準用スルモノトス但シ該規定ニ依リ難キモノハ特ニ示サレモノ、外師團司令部條例其他平時ノ

内地に於て第十師團諸條規ニ依ルモノトス

備後部ハ步兵第三十三旅團司令部勤務令ハ同司令部臨時派遣

第十師團長ノ隷下ニ入ル時ヲ以テ之ヲ廢止ス

シテ、備後部ハ臨時派遣實施ニ關スル細部ハ陸軍大臣參謀總長協議決定

備後部ハ臨時派遣實施ニ關スル細部ハ陸軍大臣參謀總長協議決定

極秘

昭和二年七月晉參謀本部第二課
五拾部ノ内第貳五號

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル規定

一、本規定ハ臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル細部ノ事項ヲ規定スルモノトス

二、現ニ步兵第三十三旅團司令部ニ配屬セラレアル鐵道要員ハ臨時派遣鐵道班ノ到着後適宜ノ時機ニ支那駐屯軍ニ復歸セシムルモノトス

三、派遣部隊ハ任務達成ノ為所要ノ人馬材料ヲ適宜徵傭スルコトヲ得

四、諸部隊ノ裝備ハ左記各號ノ外關東軍司令官及近衛師團長ニ於テ之ヲ規定スルモノトス

イ、步兵各聯隊ハ步兵砲ヲ携行シ其彈藥ハ追送ス
ロ、彈藥ハ概ネ攜帶兵器及輕機關銃ニ對シテハ各自

携行ノ分機關銃隊ニ對シテハ戰時機關銃一中隊
携行ノ分ヲ携行ス野砲一門ニ對シテハ百發ヲ携
行ス

ハ臨時派遣鐵道班及臨時派遣電信班ニ要スル器材

ニ關シテハ別ニ之ヲ指示ス

ニ前各號ニ基ク戰用諸品ノ缺數補填ニ關シテハ別

ニ之ヲ示ス

ホ糧秣ハ十五日分ヲ携行ス

五、給與及經理ニ關シテハ特ニ定ムルモノノ外昭和二年

五月二十八日陸第一五六號ノ規定ヲ準用スルモノト

ス

次官より松井少將、小野中佐宛

電報（暗号）

南北停戦斡旋ニ関スル陸第二三五號電
及之ニ関聯スル貴官ノ言動ハ省分綫陸軍
以外ニ絶對秘セラレ度為念

次官より天津軍司令官宛電報葉（暗号）

陸第二三五號電ハ省分綫陸軍以外ニ絶
對秘セラレ度為念

二三九

保存期限		決裁指定		執行指定	
大臣		大臣		大臣	
件名		支那時局ニ関スル		件名	
受領		支那時局ニ関スル		受領	
事務		支那時局ニ関スル		事務	
局長		局長		局長	
主務		主務		主務	
次官		次官		次官	
政務		政務		政務	
參照官		參照官		參照官	
書記官		書記官		書記官	
審案		審案		審案	
筆記者		筆記者		筆記者	
主務課員		主務課員		主務課員	
官房御用掛		官房御用掛		官房御用掛	
高級副官		高級副官		高級副官	
主務		主務		主務	
課長		課長		課長	
局長		局長		局長	
決裁後		決裁後		決裁後	
行回		行回		行回	
(裁覽)		(裁覽)		(裁覽)	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
提出		提出		提出	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
領受		領受		領受	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
領受		領受		領受	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
了結		了結		了結	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	
大正		大正		大正	
年		年		年	
月		月		月	
日		日		日	

政務次官
參照官
回付
決裁後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽
課名



極

秘

次宿より松井七夫少將、小野中佐、
 坂部駐屯軍司令官宛電報(暗号)

最近南京北京及山西間ニ行ハレアル停戦妥
 協ノ交渉ハ稍ニ實現ノ可能性アルヤニ觀測
 セラルル處果シテ然ラハ之ニ依ラ時局モ一時
 小康ヲ得ヘク或ハ今後山東軍ノ駐兵不必
 要トモナルヘキカト思ハルルニ付政府トシテハ全
 般ノ狀勢ニ稽ヘ之カ實現ヲ希望シアリ依
 テ貴官ハ全然個人ノ立場ヨリ青路看ヲシ
 テ余リニ相手ノ弱兵ヲ追突スルカ如キ駆
 引ヲ弄セシムルコトナク高時時局ヲ安定セ

二 區 員

シムル様之カ指道守幹旋ヲ試ミラルヘシ尤
 毛露骨ニ平運初ニ焦慮シ日本ハ内争
 ニ干渉スルモノナリトノ非難ヲ招キ或ハ出兵ノ
 跡仕末ニ就テ宥策ナリトシテ侮リヲ招リカ
 如キコト第ナキ橋特ニ注意セラレタ○(以上
 松井、小野)兩顧問ニ電報セリ(参看前二)
 註()天津軍司令部ノミ

陸軍



陸軍

1200

閣

決行指定

決裁指定

永久

保存期限

大臣委				件名 在青島部隊ノ進及青島方面ノ兵力増派ノ案ニ付	受領 番號 長	起元應(課名) 庫事課
局長 主務						
次官				政務次官	參與官	決行(決裁)後 回覽課名
副官 高級						
主務課員				書記官	審案 筆記者	參與官 回覽課名
官房御用掛 計掛						
房官臣大		課局務主		連帶		
了結	領受	出提	領受	號番		
大正	大正	大正	大正		局長	局長
年	年	年	年		長課	長課
月	月	月	月			
日	日	日	日			
(裁決)行決		覽回後				

政務次官回付 決裁後(連帶)課名

決行(決裁)後 回覽課名

次官より元帥、軍事参議官、教育總監、

東京警備司令官、憲兵司令官、陸軍大臣、

直轄官衙及近衛、第一師團参謀長、通

牒業

陸軍省

山東方面ノ形勢ニ鑑ミ在青島部隊ラシテ濟南方面

ニ向ヒ西進セシムルニ決シ七月六日附奏令セラル高石補充ト

シテ滿洲ヨリ第十師團ノ殘部即チ師團司令官部、歩兵

第八旅團(歩兵四大隊)及第十四師團ノ野砲兵一大隊

(二中隊)又又内地ヨリ鐵道、通信各一班ヲ青島ニ増集

シ在來ノ部隊ト共ニ第十師團長ノ指揮ニ屬セシムル件

本八日附奏令セラル
陸軍省 二九九六號 七月八日

字三三九六



追テ滿洲ヨリ派遣ノモノハ七月十日大連發十一日青島着、
地ヨリ派遣ノモノハ十五日青島着ノ各隊定ナリ

次官ヲ朝鮮軍、ハ魯軍、ハ津長、支那

駐屯軍自令官、各師團(近衛、第一、第十九

除ク)參謀長、第十、第十四師團留守隊司

令官、運輸部長、電報部、~~陸軍~~

前同文

二二二

八月八日



陸軍部

陸軍部		隊		覽表		(大正十五年十月調)	
大臣官房	參謀本部	教育總監部	軍用鳩調査委員	人事司(二課)	東京警備司令部	近衛師團司令部	第一師團司令部
軍務司(五課)	整備司(二課)	兵器司(二課)	經理司(四課)	醫務司(二課)	法務司	省	
(衛生材料廠)		陸軍高等軍法會議		造兵廠	兵器廠	航空本部	技術本部
陸軍運輸部		支那駐屯軍	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華
陸軍高等軍法會議	子爵 上原勇作	戴仁親王	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華
陸軍運輸部	陸軍運輸部	支那駐屯軍	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華
陸軍運輸部	陸軍運輸部	支那駐屯軍	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華
陸軍運輸部	陸軍運輸部	支那駐屯軍	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華
陸軍運輸部	陸軍運輸部	支那駐屯軍	閩東軍	臺灣軍	朝鮮軍	元帥	伯爵 奧保華

(科) 學 研 究 所	全	守 正 王
(工) 科 學 校	全	菊池 慎之助
憲 兵 司 令 部	全	自 由 義 則
軍 馬 補 充 部 本 部	全	菅 野 尚 一
築 城 部 本 部	中 將	井 上 幾 太郎
經 理 學 校	全	鈴 木 孝 雄
軍 醫 學 校	大 佐	森 田 孝 雄
衣 料 製 織 所	少 佐	久 通 宮 附 武 官
糧 秣 本 廠	關 院 官	久 通 宮 附 武 官
被 服 本 廠	久 通 宮 附 武 官	久 通 宮 附 武 官
獸 醫 學 校	梨 本 官	梨 本 官 附 武 官
侍 從 武 官 (之 衛)	朝 香 宮 附 武 官	朝 香 宮 附 武 官
東 大 宮 武 官	東 久 通 宮 附 武 官	東 久 通 宮 附 武 官
東 大 宮 武 官	賀 陽 宮 附 武 官	賀 陽 宮 附 武 官
東 大 宮 武 官	王 世子 附 武 官	王 世子 附 武 官

9200



九二九

電報譯

七月九日午前午後五時五分發

2. 7. 9

第

226

納

七

號 2712 時 41 納

陸軍大臣宛 發信者 陸軍司令部

閣下

軍令陸甲五號八日午後六時受領ス

陸軍

2200

陸軍省
陸軍部

次官

大臣

閣

密

口口九

二

土

見

參謀本部

參密第六一四號第三

御裁可書送付ノ件通牒

昭和二年七月九日

參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白川 義則 殿

臨時派遣第十師團編成及派遣ニ關スル件別紙ノ通御裁可アリタル
ニ付通牒ス

追テ御裁可書ハ用濟後返却相成度

陸軍省
第三二二二號

七月十日

六

陸軍省
2. 7. 11
226
軍事課

陸軍省
2713
時
動

陸

軍



第五三號

電報譯

七月九日午前十五時二十五分發

陸軍次官宛 發信者 第十四師參謀長

派遣野砲兵大隊八九日午後四時三十分無事海域出

發ス

丙秘書官ニ後写、上送付ス

軍務部長 軍事部長 勃員部長ニ電報ス

陸軍



第四〇號

電報譯 七月九日午前午後五時四十分發

畑陸軍次官宛 發信者十四師團參謀長

派遣野砲兵大隊八九日午後一時開城ニテ出勤準備ヲ完了ス 將校以下志氣米旺盛ナリ

兩社書記官ニ後寫ノ上送付ス 軍務部長 軍部勅員岡課長ニ電報發信

陸軍

納見

總務部長同文

第五四號

電報譯

七月九日

午前午後

四時

分

分發

軍務局長宛

宛

發信者大連運輸部出張所長

連五六

香港八日正午大連出帆十日八時頃。神山
八日午大連出帆十日午後六時頃。天潮八州
上野旅煩出帆十日午後三時青島着ノ豫
定

通報先參謀本部、陸軍部

陸

軍

閱

總長同文

第九號

電報譯

月 日 午前 午後 時 分 著

大臣宛 發信者 十師團長

參電 一〇〇

步三九ノ主力ハ十日午前十一時旅順ヲ其他
ハ十日午前十一時三十分乃至正午ノ間ニ大連
出帆志氣旺盛各々青島ニ向フ

陸軍

四

陸軍部

第 四 號

電報譯

七月十日 午前午後

九時 四分 著

陸軍次官宛 發信者第十四師團參謀長

派遣野砲兵第二大隊ハ九日午後一時

編成ヲ完了シ同日午後四時三十分無事

海域出發ス

陸軍



Handwritten vertical text on the right side of the page, possibly a date or reference number.

Handwritten vertical text on the right side of the page, possibly a name or signature.

第外一〇號

電報譯

七月十日 午前十二時四十分 著

陸軍大臣宛 發信者 歩兵第三十三旅団長

一六七

昨日張店駐屯部隊ヨリ第七中隊(二小隊)

ヲ博山ニ同中隊ノ一小隊ヲ淄川ニ派遣セリ

送 見

陸軍

	電報譯七月十日若	陸軍大臣宛	一六七	昨日張店駐屯部隊ニ	欠マ博山ニ同中隊ノ	遣セリ					
--	----------	-------	-----	-----------	-----------	-----	--	--	--	--	--

茅外ノ号

上時四分著
四時八分著

歩兵第三旅團長

兩初書

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS.

(Delivery Form)

Station <u>Kojimaohi</u> Office No. <u>4-10</u> Received Time <u>4.58</u> Date <u>10/7</u> 19 <u>27</u> By <u>[Signature]</u>	Address <u>Daijin Rikugunsho</u> <u>Tokyo</u>
Class <u>Original Office</u> No. <u>2079</u> Words <u>18</u> Date <u>10/7</u> 19 <u>27</u> Time <u>12.40</u>	Remarks <u>Tsin</u>
<p>167 ampaokixoo, tunutunenu subijuehoa, injuibgoci, itnomoiger サク九ヒ テウテンチ ウトニヨ リオセキウ タイ (=セ pui thaesas, mibukunood, gikabopoho aggeresano, oyheunmago, nusiosunge ウタイケツ) オハクザンニドウチ ウタイノセウタイオ シセンニハ obasionpe, 12 goda ニセリ</p>	

0085

9800

陸軍

告 四九 三

電報譯 七

月 九 日 午前 午後

二時 三十分 著

陸軍大臣宛

發信者 第三旅團司令部

陸二〇七

軍令陸甲中五号電八日午後八時

三十分受領 中

2. 7. 11 226

第外和五號

711

陸軍

宛

三四九

四



第四〇號

電報譯

七月九日午前午後

二時五九分著

畑陸軍次官宛

發信者 十四師參謀長

派遣野砲兵大隊八九日午後一時開城ニテ出

動準備ヲ完了ス 將校以下志氣旺盛

ナリ

高畑副官

兩親書官ニ類シテ上送ニ係

電

軍務局長 重務勳員同譯云々 (電送係)

陸軍

完 三四九 五

陸軍 7 8 時

第五三號

電報譯

七月九日

午後五時

十五時

分發

陸軍次官宛

發信者第十四師團參謀長

派遣野砲兵大隊八九日午後四時

三十分無事海城出發ス

高級別官兩祝書官ニ複写ノ上送付
警務長軍務部長各局轉付ニ電報送付

陸軍

6800

近謀第七二一

第 四 九

臨時派遣鐵道班同電信班編成及派遣ニ
關スル規定ノ件報告

昭和二年七月九日 近衛師團長 津野一

陸軍大臣 白川義則殿

首題ノ件別冊ノ通り規定セシニ付報告ス

納見

陸軍省 27.11.8 午前 陸軍省

陸軍省 27.20 午前 陸軍省 勤員課

陸軍省 2.7.27 午前 陸軍省 主計課

陸軍省 7.11.22 午前 陸軍省

陸軍省 2.8.22 午前 陸軍省 警務課

陸軍省 2.8.15 午前 陸軍省 警務課

陸軍省 2.7.23 午前 陸軍省 警務課

陸軍省 2.8.26 午前 陸軍省

陸 軍



開

軍事

卷

四九

七

近謀第七一二號

臨時派遣鐵道班及同電信班編成完結之件報告

昭和二年七月九日

近衛師團長津野一

陸軍大臣白川義則殿

首題一件左記一通付軍令陸甲第五號八二

依り報告ス

左記

編成部隊

編成完結日次

臨時派遣鐵道班

七月九日午後五時〇分

臨時派遣電信班

七月九日午後六時〇分



陸軍

軍事機密

臨時派遣鐵道班同電信班編成及派遣ニ関スル規定

近衛師團司令部

軍事機密

臨時派遣鐵道班同電信班編成及派遣關スル規定

第一條 本規定ハ「臨時派遣第十師團編成及派遣ニ

關スル件」並「臨時派遣第十師團編成及派遣ニ

關スル規定」ニアルモノノ外特ニ近衛師團ニ於テ必

要ノ事項ヲ規定スルモノトス

第二條 編成擔任官ヲ左ノ如ク定ム

臨時派遣鐵道班 鐵道第一聯隊長

臨時派遣電信班 電信第一聯隊長

第三條 臨時派遣鐵道班及同電信班ノ編成ハ附表

第一條ニ如シ

右編成ニ要スル人員ハ當該編成擔任部隊ノ平時

人員ニ至ル可ク充當スルモノトス但シ臨時派遣鐵道

班ノ編成ニ要スル軍醫一ハ鐵道第二聯隊ノモノヨ
充當ス

第四條 編成擔任官ハ臨時派遣電信班(鐵道班)ヲ

選クモ七月十日午前十時(七月九日中)迄ニ前條

ノ編成ヲ免結シ之ヲ山東ニ派遣シ第十師團長

ノ指揮下ニ入ラシムルモノトス

派遣ノ爲ノ鐵道輸送ハ別紙輸送計畫表ニ

據リ船舶輸送ニ在リテハ陸軍運輸部長ヨリ直接

編成擔任官ニ示達セララル

第五條 編成擔任官ハ本規定受領後速ニ派遣班ノ

將校同相當官

將校要員名進士官
下セテ含ム

職員表及人員一覽表

工手・士卒及初年兵
二年兵区分ヲ明ニス

各三通ヲ又編成完結セハ其完結

日時ヲ速ニ師團長ニ報告スルモノトス

第六條 派遣班ノ兵器ハ左記各號ニ據ルモノトス

一、携帶兵器ハ平時用ノモノ但刀劍ハ附又濟ノモノヲ充

當ス

二、携帶彈藥ハ平時用ノモノ

✓ 三、器材ハ附表第三、第四ニ依ル

第七條 派遣班所要ノ被服ハ編成擔任部隊ノ常用被服

ヲ携行セシムルモノトス但特ニ其ノ程度員數ヲ規定スル

コト附表第五ノ如シ

第八條 派遣班ノ給養ハ内地乘船迄ハ當該派遣班

ニ於テ擔任シ船舶輸送間ハ陸軍運輸部ニ於テ擔任ス

ルモノトス之カ爲派遣班ハ所要ノ先發者ヲ乘船地迄

派遣セシムルコトヲ得

前項派遣班ニ於テ擔任スル給養ハ陸軍旅費規則

二

第五表旅籠料定額五割増以内ニ於テは實費支

辨スルモノトス

第九條 派遣班ノ糧食ハ臨時派遣第十師團編成派遣

ニ関スル規定四ノホニ拘ハラズ編成擔任部隊平時用

若クハ戰用繰下品ヲ左ノ如ク携帶スルモノトス

携帶口糧甲(精米六合罐詰肉四十分) 一人ニ付一日分

同 乙(乾麵麩百十分罐詰肉四十分) 同 一日分

第十條 金櫃及公用行李並ニ其内容品ハ編成擔任部隊

ニ於テ常用品ヲ充當シ其定數ハ戰時編制附表第

一七五 無線電信隊本部(本部ノモノ)同小隊(小隊ノモノ)及

鐵道隊(中隊)鐵道班(モノ)ニ準ニ將校行李ハ同

表備考ニ準ニ携行スルモノトス又金櫃ノ内容金額

ニ對シテハ別ニ指示ス

第十一條 派遣人員ニ對シテハ一般ニ出發前種痘ヲ又適

宜ノ時期ニ於テ賜「チブス」^{「チブス」}「パラチブス」^{「パラチブス」}混合豫防接種ヲ實

施スルモノトス

尚「コレラ」赤痢豫防接種液ヲ携行シ必要ニ應ニ接

種ヲ實施スルモノトス

第十二條 派遣班ノ携行スヘキ諸勤務令等ノ員數附表

第六ノ如シ

第十三條 衛生材料ハ左記各號ニ依ルモノトス

一 臨時派遣鉄道班ニハ個人携帶用ノ外隊醫取扱一

號同三號各一ヲ荷物トシテ携行ス

二 前號ノ醫扱及繃帶包 鉄道班ニアリテハ五人ニ一筒宛ハ戰用品、痘苗

及種痘茲豫防接種ニ要スル藥物消耗品ハ臨機調

辨品ヲ充當ス之カ爲戰用品ハ臨時派遣鉄道班

ニアリテハ、千葉衛戍病院、臨時派遣電信班ニアリテ
 ハ東京第一衛戍病院ヨリ豫防接種液ハ陸軍ハ醫
 學校ヨリ受領スルモノトス其材料ノ受授ニ関シテハ別命ス
 三、其他ノ衛生材料ハ平時用品ヲ携行ス

✓ 第十四條、諸品ノ定数ニ於テ本規定ニ特ニ明示セサルモノ
 ノ定数ニ関シテハ昭和二年度動員計畫ニ準じ且、備
 人裝備用以外ノモノハ必要ノ最少限度ヲ携行スルモノ
 トス

第十五條、派遣班派遣後ニ於ケル編成擔任部隊、動員
 計畫ニ関シテハ別ニ示ス

第十六條、派遣ニ伴フ経理ニ関シテハ左記各號ニ依ルモノトス
 一、准士官以上營外居住下士以下及軍属ニハ陸軍派員
 規則第六表ノ支度料（三割増額）及赴任手當ヲ給ス

一 派遣ノ爲特ニ要スル經費ハ支那事件費ハ俸給
 基本額ハ匯事費ニ支辨トス
 前項經費ハ算出明細書ニ通テ附シ速ニ申請ノ
 手續續ヲ爲スモノトス
 二 派遣部隊ニ要スル經費ノ支出官ハ在託區分ニ依ル
 一 編成完結迄ニ要スル經費 近衛師團經理部長
 只出發以後所要ノ經費 陸軍省經理局主計課長
 四 前號(一)ニ係ル經費ハ編成擔任官所屬ノ資金前
 渡官吏ニ於テ取扱ヒ(二)ニ係ル今ハ派遣班將校ヲ
 第十師團經理部 陸軍 三等主計正高須賀弘信
 所屬分在官トシテ取扱ハシメ其資格氏名及
 印鑑ヲ直接通報スルモノトス

附表第一

臨時派遣鐵道班編成表

階級	人員	備考
大尉	班長 一	
中(少)尉	小隊長 三	
特務曹長	二	
曹長	二	
軍曹(伍長)	九	
上等兵	一九	
一(三)等卒	九〇	
計	一三六	
計	一	
軍醫	一	
看護長	一	
看護卒	一	
計	四	
合計	一三四	

備
 (一) 兵卒の内喇以手一機関手少クモ八 同助手少クモ十六 電信手少クモ一 鍛工製罐工手ヲ合シ少クモ六 木工手少クモ十二 組立工手少クモ四 鏡盤仕上工手ヲ合シ少クモ三 鋸工手少クモ四 鏡工縫工靴工卒少クモ各一ヲ含有ス
 (二) 以上工手卒ニハ之ニ適スル他ノ者ヲ以テ充ツルコトヲ得
 (三) 行李用諸品ハ荷物トシテ携行スルモノトス

附表第三ノ一

臨時鐵道班携行器具概数及差出區分表

道										鐵					區分					
大軌條鋸	大軌條鋸	軌道扛起器	軌條切斷金	短接續螺鑄	長接續螺鑄	擗鐵	釘鋸	保隔定規	餘高尺	遊動軌間定規	敷設用水準器	直角定規	厚削當	刻字筆	軌條鑽孔機	螺絲	名	種	定数	差出區分
一	一	四	四	一	一	一	二	二	二	五	二	二	二	一	二	二				
一	一		四	一	一	一	二	二	二	五			二	二		二				
		四									二	二			二					

木										鐵					區分					
尺三縱鋸	同又被	尺三橫鋸	大山鋸又被	大山鋸又被	同又被	手斧	同又被	同又被	同又被	同又被	護動扛重器	小形懷中時計	板附書類	手合圖	手合圖燈	携帶一囊	名	種	定数	差出區分
五	一	一	二	二	三	三	二	二	二	五	五	一	一	一	一	一				
													一	一						
	一	一	二	二	三	三	二	二	二	五	五	一			一					

工										木									
六	八	中	荒	同	新	墨	曲	同	鎌	鉈	目	目	釘	小	大	同	九	同	
燕	分			双		壹	尺	双			振	振	校	目	目	双	寸	双	
尾	棒			被		尺		被			鉈	振	校	五	五	被	西	被	
鉈	鉈	鉈	鉈	被		壹		被			鉈	振	校	針	針	被	双	鉈	
六	一	三	五	五	五	五	五	二	二	二	一	一	一	二	二	二	二	二	五
六	一	三	五	五	五	五	五	二	二	二	一	一	一	二	二	二	二	二	五

工		工										木						
鷓	十	同	合	荒	荒	紐	一寸	一寸	六分	一寸	六分	一寸	大通	八分	八分	洋	鐵	大
嘴	字			荒	荒	付	分長	分長	分長	分長	分長	分長	三寸	平	厚	形	釘	三
鉈	鉈	鉈	鉈	鉈	鉈	小	内及	内及	内及	内及	内及	内及	目	鑿	鑿	釘	鉈	翁
鉈	鉈	鉈	鉈	鉈	鉈	刀	螺	螺	螺	螺	螺	螺	目	鑿	鑿	拔	鉈	翁
二	一	四	一	一	一	四	一	一	四	四	四	四	一	三	三	二	二	五
二	一	四	一	一	一	四												
							一	一	四	四	四	四	一	一	三	二	二	五

附表第三

工叙		橋							架					工土			
小	貳	小	柳	吊	張	大	幹	急	單	三	三	一	五	大	經	番	番
移	口	心	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	擷	滑	車	滑	車	車	植	始	捧	
動																	
講																	

工												鍛					
大	遊	鋼	大	小	大	大	大	炭	十	小	大	小	大	入	中	五	七
丸	標		吋	目	目	溝	牙			円	円	平	平	鈕	好	好	好
歷	尺	尺	鐵	打	打	鑿	鑿	抽	能	鉗	鉗	鉗	鉗	(一	鏈	向	鐵
台	袋		脚											封			床
	共		規											度			
	一													半)			

外 經 規	一 蹄柄耐螺廻	小自在螺鑑	手万力	大自在螺鑑	小鉸柄	大鉸柄	中目八吋三角鉸	一吋溝壓	荒目十六吋三角鉸	中目八吋四鉸	共目十二吋四鉸	中目八吋平鉸	中目十二吋平鉸	荒目十二吋平鉸	針目拵	三蹄溝壓台	一蹄溝壓台	二吋半角壓	
	一	四	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
					二	二			一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	

中 經 規	大車明乱	中線卷匡	線摺	申被履線	鹿足錘	線出線懸	電鈴式電計板	大鉄線鉄	呼子筒	角形張線器	調線桿	柱土帶	二昇柱器	一蹄夾式螺範	鉄切鉄	金切鋸	十吋弦鋸	十吋内經規
	六	一	一	六卷	二	二	五	二	一	一	二	二	二	一	一	一	一	一

附表第六

量測		圖表		量測										通信					
重測器	球	五十米測索	中測板	測量補助表	二十米卷尺	測板羅針	場帶圖板	測斜儀	圓筒測角器	接續式標柱	吋掛尺	水準標尺	眼鏡水準器	計算尺	經緯儀	米掛尺	環中電壓電流計	電磁器具箱	中級電線接續器
二	二	一	一	五	二	一	三	一	一	六	一	二	一	一	一	一	一	一	一
二	二	一	一	五	二	一	三	一	一	六	一	二	一	一	一	一	一	一	一

量測										圖板羅針									
導火索切	火具匣	大鉸鉗	同鞋	導通試驗機	抵抗檢(鞋共)	大電機與火機	一聯回紙筒	小三邊板	大三邊板	丁形定規	定規	二十米測鎖	小製圖板	小製圖具	二米卷尺	複粉尺	二十米鋼製卷尺	疊尺	圖板羅針
一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	二
一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	二

備考	明 照					工 土 破 爆														
	本表記入はノ外所要ノ應シ若干ノ器材及必要ノ消耗品ヲ撰行スルコトヲ得	炭化石灰箱	坩 堝	同	手摺アセキリシ燈	同 燈 品箱	中作業燈(藍史)	長 石 布 錠	小 同	大 穿 石 鑿	小 同	大 穿 石 錠	小 給 車	小 線 卷 巨	短 導 電 線	長 導 電 線	小 導 火 管 入	導 火 索 炭 火 具	爆 藥 罐	小 絞 鉗 鉸
四		一	五	五	二	二	一	四	四	四	四	二	一	五	五	六	四	一	一	
			五	五																
	四	一			二	二	一	四	四	四	四	二	一	五	五	六	四	一	一	
											明 照									
					屋形天幕(備用)	二噸捲揚機	自 轉 車	保 線 立 管 車	鉄 條 鉄	長 荷 造 綱	作 業 帶	併 負 籠	大 繩 掃 子	火 立	小 油 差	算 盤	一 号 場 帶 電 燈	白 熱 石 灯 籠	炭 化 灰 灰 箱	
					一	二	二	一	二	一	二	一	一	二	二	二	一	二	四	
					二					一	二			二	二	二	一			
					二	二	一	二	二	二	一						二	四		

附表第四

臨時派遣電信班携行器材概数及差出區分表

名	稱	定数	差出區分		
			本廠	出	區分
震動式電話機		五	五		
中被覆線	絡車	六	六		
電話交換機	十二人用	一			
無線電信機	五式二號	六	六		
充電機	一馬力	三	三		
電鈴式電話機		八	八		
中被覆線	手旗	四		四	
中被覆線	大革胴乱	四	四		
中被覆線	中線卷匡	二	二		
築建線	調線桿	二		二	
器材	綵出線掛	二	二		
中繼線	輪	一六	一六		
地	棒	二四	二四		
田	匙	六		六	
精密電圧電流計		一	一		
絶縁抵抗測定器		一	一		
懷中電圧計		一	一		
一號昇柱器		四	四		
大碍子螺釘		四	四		
中接續線		二六	二六		
片鶴嘴		三		三	
西頭螺廻		二		二	
柱上帶		四		四	
中碍子螺釘		四		四	
捻線器		四		四	
小山鋸	齒被共	二		二	
尺(横鋸)	齒被共	二		二	
鉞	及覆共	二		二	
一寸平盤		二		二	
大玄翁		二		二	
小藤篋		二		二	
中革胴革		二〇		二〇	
大鐵錫鉄		二〇		二〇	

備考

一本表ニ示スモノノ外所要ニ應シ若干ノ器材及必要ノ消耗品ヲ携行スルコトヲ得

二本表中十五式二號無線電信機三、受信機代用トス

三、本表ノ外現ニ山東ニ在ル短波無線電信機二及改造乙型無線電信機ニヲ屬ス

附表第五

派遣班下士以下被服裝用区分及定数表

摘要

品種	程度	員数	程度	員数	備註
軍帽	一裝	一個			三裝甲一組ハ何物トシテ携行スルモノトス
夏衣袴	一裝	一組			
外 套	二裝	一箇	古品	一組	作業衣袴ハ何物トシテ携行スルモノトス
襟 布	新 品	一箇	新 品	二箇	二裝又ハ三裝甲一組ハ何物トシテ携行スルモノトス
襦袢袴下	一裝	一組	三裝又ハ三裝甲	二組	
軍 靴	一裝	一組	二裝	一組	軍靴一靴下ハ何物トシテ携行スルモノトス
靴 下	新 品	一組	新 品	二組	三裝甲一組ハ何物トシテ携行スルモノトス
卷 脚 絆	一裝	一組	三裝甲	一組	
此月 襪	一裝	一個			看護長看護卒ニハ所持スルモノトス
雜 襪	一裝	一個			
飯 盒	一裝	一個			
水 筒	一裝	一個			
携帶天幕	二裝	一組			
被服手入具	古 品	一揃			

考 備	蚊 布	張	古 品	三 箇	一人分	備註
一、程度ノ記載ナキモノハ編成担任部隊ニ於テ適宜規定スルモノトス						本表外ノ備トシテ若干ヲ携行スルモノトス
二、被服手入及補修材料ハ一月分ノ所要ヲ予定シ何物トシテ携行スルモノトス						行スルモノトス
三、縫靴工具ハ必要ノ品種ヲ最少限度ニ於テ携行スルモノトス						行スルモノトス

附表第六

勤務令等推行區分表

考	備	種 類	
		臨時派遣電信班	臨時派遣鐵道班
		戰時補充令	一
		野戰兵站電信隊勤務令	六
		電話隊勤務令	二
		戰時經理部勤務令	一
		戰時衛生勤務令(衛生隊部)	一
		無線電信隊勤務令	六
		戰時戰彈藥補充令	一
		鐵道輸送勤務令	一
		船舶輸送勤務令	一

一本表ニ示スモノハ全部師團ヲ令部ヨリ交付ス
 二本表外必要諸條規典ヲ輕令等ハ適宜推行スルモノトス